



# 合唱班結団式で意思統一!!



第3号  
2016年02月20日  
責任者:高開照夫  
現地実行委員会  
編集・記録班



2月13日、三好市池田総合体育館において、第4回現地実行委員会が開催され、各専門班のメンバーが概ね決定しました。

その後、班長の笠井大志さんを筆頭に班員が集集し、専門班の先頭を切つて「合唱班」の結団式が行われました。

笠井班長の決意表明を交えたあいさつと班員の自己紹介の後、課題曲である「座り込めここへ」、「あの空に帰ろう」を中心に、全員で繰り返し確認しながら合唱し、練習を行いました。次第に合唱団の歌声はひとつになり、最後に全員でインターナショナルを合唱、班長の団結ガンバローで集会の成功に向けて意思統一しました。今後複数回の練習を行い、集会に臨んでいきます。

## 今回も香川県協ではTシャツ販売に取り組みます

デザインは「月刊まなぶ」表紙でおなじみのBaby Pearlさん。徳島・鳴門の渦潮をイメージしたものになります。詳細と発注については別途案内します。

色は白と紺の2色です。



合唱班の班長に任命され、気の引き締まる思いです。青年の仲間とうたごえで参加するため、いま隣の課で働く青年を誘っています。全国交流集会の成功に向けて月刊まなぶとうたごえを武器に主体的に取り組んでいきます。【合唱班 班長 笠井 大志】



**第21回全国交流集会の概要が発表されました**

とき：2016年5月21日（土）～22日（日）

会場：徳島グランドホテル借楽園

<b>一日目</b> 5月21日（土）	<b>二日目</b> 5月22日（日）
13時～ 開会集会	9時～12時総括集会
15時30分～ 分散会討論	
18時20分～ 夕食	
20時00分～ 文化交流	

**【参加費】**  
両日参加者15,000円 開会・閉会集会のみ2,000円

# 「信頼」が運動前進を生む 四国ブロック各県協総会報告

1月23日高知県協総会は16人の参加。▼安芸地区協で魚梁瀬・安芸地域友の会が合同で学習会を復活。▼全通高知友の会で、30代と50代の会員拡大。会員が寄り添って関わりを持ってきたこと、信頼が拡大に繋がった。▼高知での「四国ブロック女性講座」のなかで音楽講座を企画し、I(アイ)女性会議の会員にも呼びかけて2人の参加があった。交流集会にも、合唱団での参加、そして読者拡大に繋げたい。交流集会は30人の目標。

同日、徳島県協総会は25人の参加。欠席者のものを含み参加者全員の報告・発言。▼第一学習会が、会員にとって労働者の正義感、人間らしさを感じられる唯一の場になっている。▼「たかかう女子会」発足で女性活動家の学ぶ場が活性化。▼「津田塾」での学習で自信と確信が得られている。▼「粘り強く通い続け3年越しのまなぶ誌拡大。▼継続した関わりから若い仲間の会員化と第一学習会の再建。など、仲間との信頼という発言が多く出された。交流集会は50人の目標。



## ひかり たたかいの芽 仲間との成長などのエピソードを紹介します。

### 誘い続ける勇気と背中を押す勇気

徳島県協 副会長 吉田 英和

第一学習会が不定期開催であった美馬町職友の会が、34歳の青年を会員に拡大し、今年1月から3人で定例開催になりました。

再建と拡大がなぜ勝ち取れたのかは、会員二人が青年に関わり続けたことは言うまでもありません。それに何より勇気を出して意識的な場所、例えば「まなぶ読者大会」や「県協総会」などに誘い、一緒に参加して、友の会運動を知るきっかけを作り続けてきたことです。彼らの姿を見てきた青年は、私がポンと背中を押すと、あっ気ないほど「会員になるつもりで来ました」と答えてくれました。

飲みすぎる姿など見たことがない仲間が、青年と二人で黒霧島1升を9割空けて、最後は足が立たない状態でした。

会員誕生と第一学習会再建の場に居合わせた喜びは、言葉で言い表せないものです。



## わかishi 若者の決意 集会参加に対しての若者の決意を紹介します。

### 新しい会員とともに全国の皆さんにまなぶ

高知県協 全通高知友の会 高橋 学

昨年に続いて参加します高橋学です。今年は新しく会員になったM君を連れて行きたいと考えています。

M君は私の前の職場で働いていた仲間で、会員のNさん達と毎月焼き肉を囲んで飲む関係でした。そこでM君の職場での問題が何とかならないかという話になり、その事を第一学習会でM君に話してもらいました。結果、他の会員やM君と同じ職場の会員のOさんの関わりもあって無事解決する事ができ、M君に会員にもなってもらいました。

当初、学習会に来てもらうのは躊躇したのですが、Nさんが丁寧に関わってくれたので呼ぶことができたのだと思います。彼には全国にたくさん仲間がいる事を知ってもらいたいと考えています。

四国の若者は全国の皆さんの参加を心待ちにしています。ぜひ多くの参加をお願いします。

